

「無所属の会・市民ネット」

<http://www.mushozoku.net>

～ 強く優しく～

越川まさふみ

湯浅止子

秋本のり子



「無所属の会・市民ネット」 街に繰り出す!

「無所属の会・市民ネット」は、会派代表の越川まさふみ（無所属、1期）と、若き代表を支える女性議員湯浅止子（無所属、2期）・秋本のり子（市民ネットワーク・市川、2期）の3名によって平成25年8月に結成された、市川市議会でも最も女性比率が高く最も初々しい会派と言われております。

市議会議員にとって、市議会にて質疑・質問を行う、あるいは、地域の課題について市の所管課と対応を協議するというのはもちろん重要ですが、街に繰り出して市民の方々から直接お話を伺うとともに、自分の考え方や活動を報告するというのも重要な仕事の1つです。

そこで、春のある日、「無所属の会・市民ネット」の3名で市内各地に起き、2月定例会の活動報告をしつつ、それぞれの想いや取り組みについてお話しさせて頂きました。政治不信の高まりからか、地方選挙の投票率は軒並み「史上最低を更新」している昨今の政治情勢下ではありますが、思いの外どの地域においても多くの方が私たちにお声掛けくださいました。政治への不満や日常生活での不安に関するお話を伺う中で、市民の方々は政治に関心が低いのではなく、受け皿がないだけなのだ!ということを再認識させられました。

市川市議会において、私たちは無党派層の受け皿を目指しています。

そして、市川市議会はいま変わりつつあります。是非とも新しい力にご期待ください!



プロフィール

- 昭和48年10月28日生まれ、O型
- 身長・体重:180cm 80±2kg
- 市川市立東国分中学校卒業(第8期)
- 市川高等学校(市川学園)卒業(第44回)
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業(第138回)
- 米国公認会計士・経営コンサルタント。株福田組、あずさ監査法人、KPMGLLPを経て平成21年株式会社越川雅史経営研究所を設立、代表取締役役に就任。
- 平成23年市川市議会議員初当選(無名の新人・無所属の挑戦!!)
- “二足の草鞋”を武器にするビジネスマン政治家として、専門誌「日経グローバル」に注目される。
- 市川市議会党派「無所属の会・市民ネット」代表、総務常任委員会委員

市川市議会議員 米国公認会計士

越川まさふみ

〒 272-0035 市川市新田 4-12-19-406 号
 TEL : 047-377-5777 FAX : 047-727-2111
 e-mail : contact@koshikawa-spirit.net
 http://www.koshikawa-spirit.net/



夢もデカいが
手もデカい

市民の方々にお役に立てるために！

私が市民の方から一番依頼を受けることは、やはり、道路問題についてです。初当選から3年余り、「あそこの道路が危ない」「振動がひどい」「側溝を清掃して欲しい」「枝が伸びて道路に出ている」といった地域の方々からの指摘とご要望に対して、出来る限りの対応をして参りました。

「政治家が道路予算獲得に奔走中！」などという言葉だけを聞くと、確かにイメー



▲ひび割れと水溜りのひどかった舗装も、雨の日に滑り易かった歩道もすっかりきれいになりました。

ジが悪いかもしれませんが(笑)、道路整備が実は他の多くの政策の基盤にもなっていることも事実です。

例えば、道路の凹凸や段差を解消して誰でもスムーズに通行できるようにすることは、高齢者や障害者に対する福祉のみならず、ベビーカーを押すママたちにとっての子育て支援にもつながります。また道路側溝を清掃し、公衆衛生を保ちつつ台風

時の排水に備えることは、快適な住環境の実現には不可欠です。更に教育の観点からは、通学路の安全を確保することも重要です。



▲国分6丁目10番地先。段差が解消され安全に通行できるようになりました！

しかしながら、市道総延長は約700kmあるのに対して、道路建設予算は年に数km分しか確保されていないのが実情であるなど、道路政策にこそ市民ニーズとのかい離が際立っているよ

うにも思えます。たかが道路、されど道路。地味な仕事ではありますが、私は道路の充実こそが市政の総合力向上のキーワードの1つであると考えています。



市民の方々からの「がんばってね!」が励みになります!



市川市議会議員

秋本のり子

市民ネットワーク・市川
〒272-0023 市川市南八幡 3-7-16-301
TEL : 047-369-7410
<http://shiminnet-ichikawa.com>

プロフィール

1957年 神奈川県川崎市に生まれる 普連土学園中学、高校卒業 聖徳栄養短期大学卒業
1978年 社団法人松井病院食養内科で栄養士として勤務、その後、料理教室を開く
1985年 結婚後、市川市に住む 認知症の義母の介護(8年) PTA、子ども会役員活動 行徳公民館ウーマンカレッジの企画に参加 市川市主催女性大学院参加 市川市主催市民懇話会参加
1999年 市川に女性市議をふやそうネットワークの活動に参加
2006年 「平和・無防備条例」制定の署名活動に参加
2007年 市川市議会議員に当選
2011年 市川市議会議員に再選
現在 健康福祉委員会、市川市総合計画審議会委員、市川市議会議員団役員



素晴らしい女性たちに支えられて！

私が推薦頂いていました「市川に女性市議をふやそうネットワーク」が2013年幕を閉じました。

1993年、この団体が発起されたとき市川市議会は44名の市議のうち女性は2名でした(約4・5%)。

そして「男女共同参画社会」をめざし、選挙は市川房枝さん提唱の「理想選挙」に限りなく近づき、自分たちの代表

として「出したい人」を推薦する。という実践に取り掛かりました。

ここから、ものがたりは始まります。多くの女性たちが活動した20年の記録がまとめられました。

「ともに創る市川」20周年記念誌です。

当時の代表の熱き言葉、よせられた投稿文などからほとばしるエネルギーを感じまし

街にくりだし

今回の駅宣では市川駅でちらしを持ち帰った方から、「高さ制限を早くかけてこの市川の町並みを守ってほしい」と連絡が入りました。80代の女性です。

本当にうれしい反応で、個人的なことから政治に関心をもち、声をだし、参画するということが為政者たちへの抑止につながると信じてやまない秋本です。



▲地元妙典では多くのご要望を頂いています

た。時代を先取りしています。2014年、市川市議会は42名中女性は8名になりました

た(約19・0%)。新たな時代・市川を一緒につくりませんか！



▲いつも素晴らしい女性たちに支えられています



市川市議会議員

湯浅止子

〒 272-0805 市川市大野町 3-1766
TEL : 047-337-7175
<http://otomepress.blogspot.jp>

プロフィール

1947年 静岡県熱海市生まれ
1964年 市川市立第四中学校卒業
1967年 千葉県立松戸高等学校卒業
1972年 法政大学卒業
1972年4月～2007年3月 千葉県市川市内公立学校教諭として
勤務 第3中学校・下貝塚中学校・第8中学校・第1中学校・
第5中学校
その間・市川市教職員組合執行委員・女性部役員を歴任・
中学校バレー部顧問
2007年5月 市川市議会議員初当選
2011年4月 市川市議会議員再選
現在 環境文教委員・議会運営委員会副委員長・大町レクリエー
ションゾーン委員・市川民話の会副会長・市川市芸術文化団体
協議会事務局長・湯浅ふるさと会副会長

みなさまの声を大切に

「聞かせてくださいみなさまの声」をモットーに活動しています。男女共同参画センターには女性のあらゆる相談窓口があります。セクハラで困っている人やDVの方のご相談を、ご一緒に話し合うことも多くあります。予約が混んでいるのは相談が多いということですので。女性の方の窓口として機能しているということでもあります。



警察や裁判までいかないセクハラは、心の中に重くしこりで残ります。解決までいか

なくても、しこりを少しでも軽くするお手伝いはしていきたいと思えます。
健康教室で自己管理のための体操や軽い運動に多くの女性の参加があります。男性の申し込みはごく少ないようです。健康教室の休憩時間等に



▲市川市男女共同参画センター



る話を伝えさせて
いただいています。
「あっそうそう、あそこにはこんなお店があった」となつかしい思い出話に花が咲きます。心身共にリフレッシュして明日への活力にしてください。地域包括センターの活動がもっともっと行きわた



市川の昔ばなしを語らせていただき、住いする地域に残る話を伝えさせて
いただいています。
「あっそうそう、あそこにはこんなお店があった」となつかしい思い出話に花が咲きます。心身共にリフレッシュして明日への活力にしてください。地域包括センターの活動がもっともっと行きわた

る話を伝えさせて
いただいています。
「あっそうそう、あそこにはこんなお店があった」となつかしい思い出話に花が咲きます。心身共にリフレッシュして明日への活力にしてください。地域包括センターの活動がもっともっと行きわた

